

施策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	2-2	政策名	生活基盤の充実	政策の 目指す姿	生活に必要な基盤が整い、快適に暮らしています	施策 主管課	道路課	施策主管 課長名	高橋 雄光
	施策No.	1	施策名	道路環境の充実	施策の 目指す姿	安全で利便性の高い道路が整備されています	関係課名			
	現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに沿った市道整備と国県道の整備要望を進めてきましたが、整備や維持補修の要望は現在も少なくない状況です。 除雪機械の老朽化や運転技術者の減少が進んでおり、除雪体制の維持が懸念されています。 市内にある橋長15m以上の橋梁209橋のうち、耐用年数50年を超過した橋は25橋あり、橋梁の老朽化が進行しています。 							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)道路の整備・維持管理

- 主要幹線道路、都市計画道路、生活道路の整備
- ・幹線道路・都市計画道路1.2km、生活道路1.8kmを整備した。
- 舗装修繕等の道路環境の維持
- ・舗装修繕7.3km、補修件数363件
- 交通安全環境の整備
- ・歩道を1.0km整備した。
- 国県道の整備要望
- ・国県道の整備を直接又は関係整備促進期成同盟会等で要望した。
- 除雪体制の効率化
- ・道路除雪1,866km、市域全体の除雪回数6回、除雪委託費等を迅速に行うため計算システムを導入した。

(2)橋梁の整備・維持管理

- 橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁の維持修繕や架け替え整備
- ・橋梁の維持補修事業により朝日橋、折居橋の修繕を実施
- ・橋梁整備事業により太田橋、豊沢橋の架け替えを実施中

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
市道の改良率	道路整備の度合いを示す指標	出典:道路課 改良率=改良延長/市道延長	%	目標値				56.0	56.2	56.4
				実績値	55.5	55.6	55.7	55.9	55.9	
市道の舗装率	道路整備の度合いを示す指標	出典:道路課 舗装率=舗装延長/市道延長	%	目標値				51.8	52.0	52.2
				実績値	51.1	51.4	51.5	51.7	52.0	
歩道の整備延長	歩道整備の度合いを示す指標	出典:道路課 道路台帳	m	目標値				174,080	174,380	174,530
				実績値	167,593	172,039	173,970	177,086	178,611	
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>・平成27年度実績 改良率・・・改良済延長1,849,318m/市道実延長3,306,730m×100=55.9% 舗装率・・・舗装済延長1,718,436m/市道実延長3,306,730m×100=52.0% (参考)H26年度実績 改良率:1,848,887m/3,308,375m×100=55.9% 舗装率:1,710,040m/3,308,375m×100=51.7%</p> <p>■成果指標「市道の改良率」・・・【達成度 b】 実績値が目標値を下回ったことは、市道整備財源である社会資本整備総合交付金が、平成26年度から引き続き減少し、これに伴い事業費が減少したことが要因である。</p> <p>■成果指標「市道の舗装率」・・・【達成度 a】 市道整備財源である社会資本整備総合交付金が、平成26年度から引き続き減少したが、舗装供用に努めた結果、目標を達した。</p> <p>■成果指標「歩道の整備延長」・・・【達成度 a】 歩道整備財源である防災安全交付金が、比較的安定していることに伴い、所要の事業費を確保できた。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	生活道路維持事業	道路課	A	B
	生活道路の安全・安心を確保するため、修繕や補修、除排雪の維持管理を行う。 (舗装修繕 7.3km、補修件数 363件、市域全体の除雪回数 6回)			
2	生活道路整備事業		A	B
	安全で快適な道路網を構築するため、市道の新設・拡幅改良及び、現道舗装、側溝整備を行う。 (道路改良1.8km 現道舗装1.2km 側溝整備0.4km 防雪柵0.2km)			
3	橋梁維持事業		A	B
	予防保全型維持補修により橋梁の長寿命化を図り、通行の安全を確保する。 (朝日橋、折居橋の補修を実施)			
4	橋梁整備事業		A	B
	安全で快適な道路網を構築するため、市道橋梁の架け替えを行う。 (太田橋、豊沢橋の架け替えを実施中)			
5	交通安全環境整備事業		A	B
	歩行者の安全・安心を確保するため、歩道の設置やバリアフリー化等の整備を行う。 (歩道設置 1.0km 防雪柵設置 1箇所)			

5 施策を構成する事務事業の検証

①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

- ・立地適正化計画に基づく公共交通によるネットワークの実現に向け、城内大通り一丁目線の整備を進める。
- ・歩道のない橋梁について、歩道の必要性の有無を調査し、必要な橋梁については、橋梁拡幅による歩道の設置が可能であるか検討する。

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・ストック総点検(橋梁、舗装、道路付属物、法面・土構造物)に伴う、点検経費、点検に伴う修繕経費が増高し、道路法に基づく5年に1回の定期点検(橋梁、トンネル)の点検経費や修繕経費も加わるため、将来を見据えた計画的に効率の良い修繕と財源の確保が必要である。
- ・国道4号の山の神・村崎野間はボトルネックとなっていて、慢性的な渋滞がおきており、救急搬送や通院、工業・流通団地への通勤・流通に支障をきたしているため、花巻東バイパスを含め4車線化にする必要がある。

(今後の方向性)

- ・公共施設等総合管理計画及びストック総点検に基づく長寿命化修繕計画により効率的な修繕の検討とその財源確保を図る。
- ・国道4号の花巻東バイパス、山の神・村崎野間の4車線化を推進する団体を、本市、北上市、金ヶ崎町、奥州市及び民間企業・団体に組織し、国に強く働き掛ける。